

令和2年度「横浜カーボンオフセットプロジェクト」 参加市民・事業者募集開始！ ～横浜市で行われる大規模スポーツイベントにエコで参加しよう！～

横浜市では、「Zero Carbon Yokohama(ゼロ・カーボン・ヨコハマ)」*を目指す取組のひとつとして、平成30年7月より、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会*等の**大規模スポーツイベント**へ向けた「**横浜カーボンオフセットプロジェクト**」に取り組んでいます。この取組は、大規模スポーツイベントで発生する二酸化炭素(CO₂)と同等のCO₂削減活動を、市民・事業者に広く呼びかけるものです。

令和2年8月1日より、令和2年度の参加市民及び事業者の募集を開始します。

※Zero Carbon Yokohama(ゼロ・カーボン・ヨコハマ):平成30年10月策定の「横浜市地球温暖化対策実行計画」において掲げられている本市の温暖化対策のゴール。2050年までの温室効果ガス実質排出ゼロ(脱炭素化)の実現を目指している。

※状況に応じて、他のスポーツイベント等に変更する場合があります。

1 市民募集について(別添参照)

(1) 対象者

省エネ行動部門等の市民部門に御参加いただき、そのCO₂削減分を提供してくださる方。

(2) 募集期間(令和2年度) 令和2年8月1日～令和3年3月31日

(3) 応募方法 温暖化対策統括本部ウェブサイトを通じて応募します。

「横浜カーボンオフセットプロジェクト」ウェブサイト

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/ondanka/etc/ycop/>



2 事業者募集について

(1) 対象者

本事業にCO₂削減分を提供してくださる事業者及び市民等に本事業への参加を促進する事業者。

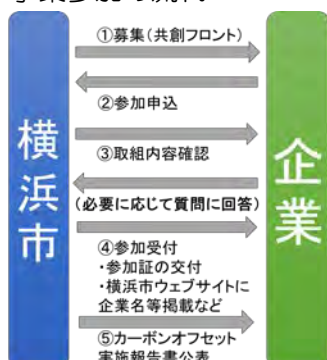
(2) 募集期間(令和2年度) 令和2年8月1日～令和3年3月31日

(3) 応募方法 横浜市共創フロント・テーマ型募集を通じて申し込みます。

「共創フロント・テーマ型募集」ウェブサイト

URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kyoso/kyosofront/front/syousai/theme-front.html>

(4) 本事業参加の流れ



参加受付された取組について事業者の皆様、「横浜カーボンオフセットプロジェクト」参加証およびロゴのデータ等を配布します。また、横浜市ウェブサイトにも事業者名及び取組内容を掲載します。あわせて、本プロジェクトの広報に際し、事業者名等を掲載します。

【備考】CO₂削減量は、申込みいただいた内容をもとに、横浜市が算出します。なお、提供いただいたCO₂削減分は、他の用途に利用できません。

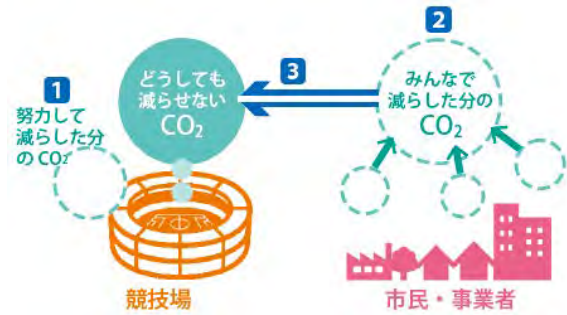
裏面あり

【参考】

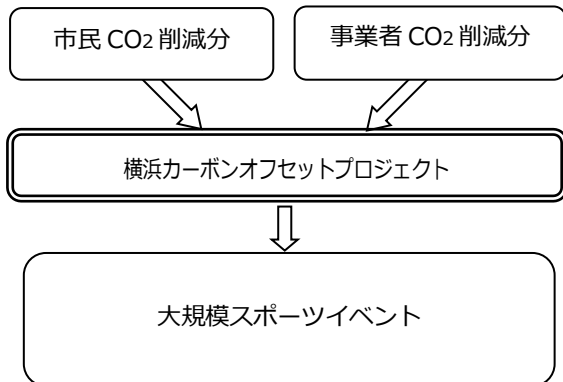
1 カーボンオフセットとは

イベントなど様々な活動において、どうしても削減できないCO₂排出量の全部又は一部を他の場所での排出削減量で相殺（オフセット）することをいいます。

- 1** イベントのときに
出る二酸化炭素の
量を把握して、
減らす努力★を
します。
★横浜市内の競技場では、ナイター照明のLED化を進めています。
- 2** ほかの場所で
二酸化炭素を
減らす活動を
します。
どうしても
減らせない
分は、
- 3** その減らせた分を
まとめて、イベントで出る
二酸化炭素の量に
うめあわせ(オフセット)
します。



2 横浜カーボンオフセットプロジェクトの仕組み



市民、事業者から集めたCO₂削減分を、「横浜カーボンオフセットプロジェクト」でいったん取りまとめます。

大規模スポーツイベントが開催されたあと、この削減努力分をカーボンオフセットに役立てます。



お問い合わせ先

温暖化対策統括本部プロジェクト推進課長

岡崎 修司

Tel 045-671-2636

横浜市で行われる 大規模スポーツイベントに エコで 参加しよう!

©(公財)横浜市スポーツ協会

新型コロナウイルス感染症によって、多くのスポーツイベントが中止や延期となりました。これから開催されるイベントを観戦するだけでなく、家に居ながらエコで応援しませんか。日々の生活で省エネ行動に取り組み、みんなでスポーツイベントのカーボンオフセットを達成しよう!

オリジナル
スポーツタオル
が当たる!

カーボンオフセットとは?



参加方法

省エネ行動に家族で参加!

WEB・FAXから申込み

カーボンオフセット

スポーツイベント

どんな行動をすればいいの?

例1 あかりのつけっぱなしをやめる

例2 冷蔵庫の中身をすっきり整理

例3 シャワーはこまめに止める

CO₂削減例
1人1日あたりのCO₂ 25g削減CO₂ 56g削減CO₂ 79g削減

応募方法

右のウェブサイトより応募してください。

※FAXでも受付可能です。裏面の必要事項を記載の上お送りください。



記入事項

メールアドレス・「省エネ行動リスト」取組結果(できた日数)・感想 他

※オリジナルスポーツタオルを希望する方は、その他必要事項にご入力ください。
※横浜市からのメール(@city.yokohama.jp)を受信できるアドレスでご応募ください。
※スポーツタオルの当選の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

令和2年度
応募締切

令和3年3月31日

※重複応募または不正とみなされたものは無効となる場合があります。

横浜カーボンオフセットプロジェクト

検索

例えば

100人が、毎日、すべての項目に取り組めば、 サッカーの試合8試合分のカーボンオフセットを達成!



省エネ行動リスト

	できた 日数	CO2削減量(g) (1日当たり)	合計(g)
1 明かりのつけっぱなしはやめよう。	日 ×	25 g =	g
2 パソコンを使わないときは、電源を切ろう。	日 ×	40 g =	g
3 部屋を片付けてから、掃除機をかけよう。	日 ×	7 g =	g
4 冷蔵庫の中身はすっきり整理しよう。	日 ×	56 g =	g
5 炊飯器の保温機能は必要なときだけ使おう。	日 ×	59 g =	g
6 シャワーはこまめに止めよう。	日 ×	79 g =	g
7 エアコンの設定温度を1℃上げてみよう。 (冬は1℃下げてみよう。)	日 ×	(夏)126 g = (冬)147 g =	g
8 冷蔵庫の設定温度は「自動」モードか、 「中」モードにしよう。	日 ×	79 g =	g
9 エアコンのフィルターを 月に1~2回掃除してみよう。 <small>(掃除してからの日数)</small>	日 ×	53 g =	g
10 トイレを使い終わったら、フタを閉めよう。 (温水洗浄便座の場合)	日 ×	45 g =	g
11 洗濯物を干すときは、乾燥機ではなく 自然乾燥(天日干し)してみよう。	日 ×	1012 g =	g

※【CO2削減量計算式】使用電化製品の消費電力(W)×使用を抑えた時間×CO2排出係数(排出係数はご利用の電力会社、ご利用の年度によって異なります)

やりかた

- ① 省エネ行動リストに取り組む月を決めよう。 _____ 月
- ② 省エネを心がけて1ヶ月間生活してみよう。
- ③ 右のウェブサイトへアクセスして、必要事項を入力して応募しよう。



省エネは健康に気をつけて行いましょう

連絡先
・
応募先


横浜市温暖化対策統括本部プロジェクト推進課
横浜カーボンオフセットプロジェクト担当
横浜市中区本町6丁目50番地10
TEL：(045)664-2525 [横浜市コールセンター]
E-Mail：on-carbonoff@city.yokohama.jp



横浜カーボンオフセットプロジェクト

検索

FAX送信票：045-663-5110 (記入してこの紙を送信してください)

<p>お名前 _____</p> <p>〒 _____</p> <p>ご住所 _____</p> <p>TEL _____</p>	<p>感想</p>
<p> オリジナルスポーツタオルを <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない</p>	